



さくら通信

2019年
冬号

1995年1月 阪神・淡路大震災、2011年3月 東日本大震災、
2016年4月 熊本地震と地震大国に住む私たちはいつ震災に
遭い被災するかわかりません。

これまでの震災での教訓を生かし、日頃から災害に対して
準備を心掛けていただきたいと思います。

1.常備しておきたい三種の神器

「人工透析患者カード」「透析手帳」「お薬手帳」

併せていつでも持ち出せるようにしておきましょう。

もし、当院が被災して透析を行えない状況になった時は、
他院で透析を行っていただくことになります。その時必要
になるのが、「人工透析患者カード」です。

1) 「人工透析患者カード」について

これには透析に必要な条件が記載されています。

- ①透析方法②シャント肢③ダイアライザー④透析曜日
- ⑤血流量⑥透析液⑦抗凝固剤の種類⑧ドライウェイト
- ⑨アレルギーの有無⑩感染症の有無⑪当院の連絡先

最新の情報になるように技士が管理しています。
月初めに提出をお願いします。変更点を確認し、訂正いた
します。

人工透析患者カード		DW	kg	
氏名	血型: O(+)	(年 月 日 現在)		
透析条件	血液浄化法: HD(3h)	透析日: 月・水・金	アレルギー	無
	プラトアクセス: 右前腕	血流量: 200ml/min	感染症	HBsAg(-) HCV(-) W氏(-)
	ダイアライザ: NV-18U	透析液: キンダリー4E	緊急連絡先	
	抗凝固剤: ヘパリン(初: 000U 持: 000U/h)	医療法人貴和会 大野内科医院 (☎028-633-3777)		

2) 「透析手帳」について

毎回透析毎に記入している手帳ですが、多施設で透析を受
ける場合に透析の記録として大切な情報になります。

3) 「お薬手帳」について

もし、薬を持ち出せずに多施設で透析を受けられることにな
った場合、「お薬手帳」があれば、その施設で薬を処方し
てもらいやすくなります。

2.当院で透析が受けられるかどうかの確認

1) 伝言ダイヤル

実際の災害時には病院への電話が繋がりにくくなることも
ありますので、伝言ダイヤルをスムーズに活用できるように
しておきましょう。

毎月1日 午後3時から伝言ダイヤルの訓練を行っています。

他の地域での大きな災害がない限り訓練は行っております。

2) 電話が通じる場合、当院への電話連絡 028-633-3777

3) 当院のホームページへのアクセス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~ohnom/>

4) 比較的繋がりやすいショートメールでの当院への連絡

次は3.震災時の食事について詳しく紹介します。

新しい先生よりごあいさつ

加藤 知子先生



1月より外来と透析室に勤務しております。専門は呼吸器内科医です。自治医大
呼吸器内科で修業し、総合病院や診療所で診療を続けていました。もし、タバコ
をやめたいと思っている方がいらしたら声をかけて下さい。やめるお手伝いをしま
す。これから、どうぞよろしくお願ひします。

永山 泉先生

平成31年1月より、前任の金子医師から引き継ぎ、毎週木曜日に診察をさせて頂く
事になりました。自治医科大学附属病院腎臓内科の永山と申します。皆様が安心して
透析を受けられるように取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。